



話題 TOPICS
友好都市の絆深める

8月1日(水)、まつりに向けての灯ろう係留作業に友好都市である福島県富岡町の職員5名が交流活動の一環として参加しました。暑い中での約7時間もの作業でしたが、一生懸命行ってくださいました。参加した富岡町職員は「炎天下での作業は大変でしたが、自分たちが係留した灯ろうに光が灯った姿に感動しました。」と語ってくれました。

△住民協働課



「杉戸宿魅力発信拠点施設」愛称決定！
流灯ふれあい館

**たくさんの協力
 によって迎えた完成**

流灯ふれあい館は、平成29年12月より建築に着手し、施設は平成30年3月、施設の外構は7月に完成しました。(詳



古谷町長の手によって発表

**みんなが心通わせ
 ふれあう拠点に**

8月4日(土)に行われたオープニングセレモニーにて、「杉戸宿魅力発信拠点施設」の愛称が発表されました。愛称が採用された愛知県在住の小寺光雄さんは、「長く皆さんに愛される愛称となることを願っています。」とコメントしました。

また、古谷町長はセレモニーでの発表の際に、「愛称のその名の通り『みんながふれあい楽しめる魅力ある場所』となっ



流灯ふれあい館と灯ろう



日本工業大学の学生が作成した懸魚

細は広報すぎと平成30年3月号参照)

建設にあたっては、包括的連携協定を結んでいる日本工業大学の学生に、施設内部の柱や梁の塗装、懸魚※の作成などをしていただきました。その他、町内企業などのご協力のもと、無事、流灯ふれあい館の完成を迎えることができました。

※懸魚(げぎよ)とは、木造の建物に付ける火除けのまじないの装飾のこと



写真右より杉戸ロータリークラブ 田中昌夫幹事、仁部前崇会長、馬場茂明委員長

話題 TOPICS
**杉戸ロータリークラブが
 机・椅子を寄贈**

7月25日(水)、杉戸ロータリークラブ様より杉戸宿魅力発信拠点施設の完成に伴い、机10台、椅子20脚を寄贈していただきました。

杉戸ロータリークラブ様のご厚意に感謝し、ご寄贈いただいた机、椅子は、観光振興のため大切に使用させていただきます。

ありがとうございました。



夏の思い出
ココロ灯る

8月4日(土)・5日(日)、古利根川河畔(古利根橋〜清地橋)にて「第25回古利根川流灯まつり」が開催されました。昼一層にもなる大型灯ろう25基が古利根川に並ぶ様子はまるで天の川――。

「訪ねてみたい！21世紀に残す日本の風景遺産100選―(読売新聞社)―」にも選ばれたその美しい風景は、訪れた方の心にそっと夏の思い出として灯ったことでしょう。